



栗原市立大岡小学校閉校・大岡幼稚園閉園記念誌



ありがとう ~みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌~

2013.03



🎵 校歌・校章・校旗				1
📖 児童数・園児数の推移				2
🗨️ あいさつ				
	大岡小学校の閉校、大岡幼稚園の閉園に寄せて	栗原市長	佐藤 勇	3
	大岡小学校の閉校、大岡幼稚園の閉園に寄せて	栗原市教育委員会教育長	亀井 芳光	4
	永久に心のふるさと大岡小学校	栗原市立大岡小学校 第44代校長	小野寺八重子	5
	大岡小学校閉校に寄せて	栗原市立大岡小学校 父母教師会会長	菊地 睦	6
📖 学校の概要				7～8
🕒 大岡小学校・幼稚園の沿革				9～12
👤 歴代校長				13
👤 歴代校長・歴代父母教師会会長				14
📝 寄稿文				
	～歴代校長～大きい学校、楽しい学校	第38代校長	熱海 正武	15
	大岡小学校の思い出	第41代校長	佐藤 達也	16
	大岡っ子の未来に託す	第43代校長	戸田 恵雄	17
	～卒業生～ 閉校を惜しむ	昭和11年度卒業	加藤 作三	18
	大岡小学校の思い出	昭和13年度卒業	千葉 四郎	18
	大岡小学校閉校に関しての思い出	昭和31年度卒業	加藤 忠典	19
	時代	昭和62年度卒業	和久 敬哉	19
	人との出会い	平成18年度卒業	三浦 太郎	20
	～職員～ 感謝		高橋由美子	21
	自ら進んで、心豊かに育つ子どもたちへ		遠藤 律子	21
	閉校にあたって		五十嵐俊之	22
	我らの力生むところ		佐々木恵理子	22
	あいのかねのね		加藤 佳洋	22
	思い出		千葉 彩子	23
	私の初任地、大岡小		遠藤 美南	23
	閉校にあたって		菅原 聡一	24
	優しさにあたり		百々 哲史	24
	閉校に思う		高橋 伸	24
	～保護者～			25～30
	～大岡幼稚園の思い出～			31～32
	～在校生～			
		1年生		33
		2年生		34
		3年生		35
		4年生		36～39
		5年生		40
		6年生		41
📝 あとがき				
		栗原市立大岡小学校 教頭	渡邊 美由紀	42





大岡小学校 校歌

早川 榮男 作詞
村松 利平 作曲

♩ = 105 位

1. は さ ー ま の か わ ー べ
 2. く り ー こ ま や ま な み
 3. あ い ー の ー か ね の ね

は れ ば れ と き よ ー ら に
 ち よ う じ よ う と き じ ゆ ー う の
 さ わ や か に あ し ー た の

し ろ ー い ま な び や は
 そ ら ー に む つ み あ い
 に ほ ん に ふ る さ と に

わ れ ら の ゆ め を よ ぶ と こ ろ
 わ れ ら の ち か ら よ う む と こ ろ
 へ い わ の さ か え の ぞ み つ つ

は げ も う な か よ く げ ん き よ く た
 ま な ぼ う さ と く こ ん き よ く た
 の び よ う あ か る く み ち も と め お

の ー し お お お か し ょ う ー が っ こ う
 の ー し お お お か し ょ う ー が っ こ う
 お お か お お お か わ が ぼ こ う

大岡小学校 校歌

作詞 早川 榮男
作曲 村松 利平



一、迫の川辺はればれと

きよらに白い学び舎は

われらの夢を呼ぶところ

はげもう仲よく 元気よく

たのし 大岡小学校

二、栗駒山なみ 重疊と

自由の空に むつみあい

われらの力 生むところ

学ぼうさどく 根気よく

たのし 大岡小学校

三、愛の鐘の音 さわやかに

明日の日本に ふるさとに

平和の栄えのぞみつつ

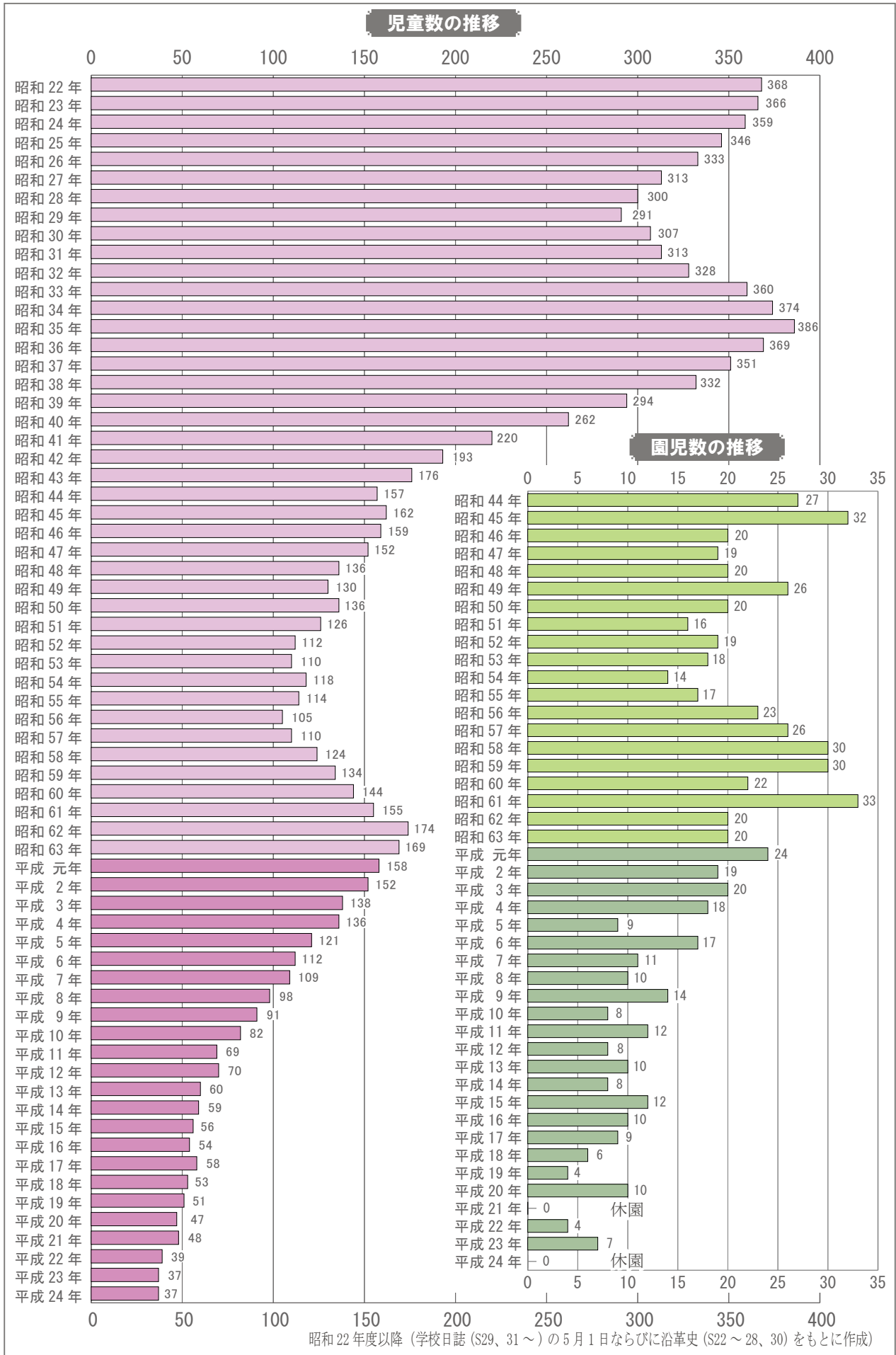
伸びようあかるく 道求め

大岡 大岡 わが母校





児童数・園児数の推移





大岡小学校の閉校、大岡幼稚園の閉園に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

秀峰栗駒山の分水嶺から多くの河川が流れ豊穡な耕土を育み、市内有数の稲作地帯に位置した大岡の地で、子どもたちに多くの学びを与えてきた大岡小学校並びに大岡幼稚園が閉校・閉園するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

明治6年に大岡地区の中心部に開校して以来、140年にわたる長い歴史をもつ大岡小学校並びに昭和44年開園の大岡幼稚園は、地域住民の方々の学校教育に対する御理解、御協力のもと地域の温かい目に守られ、健全な児童育成の伝統を築き上げてこられました。

恵まれた教育環境の中、学校及びPTAまた児童個人にわたり幅広い分野において多くの優良受賞をされており、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、広く御活躍されておりますことは、地域皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史のある大岡小学校並びに大岡幼稚園では、保護者をはじめ地域の方々の学校教育に対する関心が高く、運動会や学芸会、秋祭りなどに地域から協力いただき、これまで児童と教師、児童相互の関係はもちろんのこと、地域と学校の確かな信頼関係を築いてこられました。

こうした環境の中、少人数というメリットを活かした学習活動は、目を見張るものがあり、特に、現代社会においてインターネット環境に代表される情報通信技術が広範に普及する中、積極的に先進的教育情報推進プログラム事業に取り組み、平成19年度からは全教室にプロジェクタと実物投影機を設置し、ICT機器を活用した学習活動の質的向上に努められてきたところであります。こうした最先端の教育学習により、様々な課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力などの「活用する力」を養われてこられましたことは、市内小学校の学習活動におきまして、良き模範として挙げられるものであります。

また、幼稚園からほぼ変わることなく全学年が一緒に生活することで、仲間意識が高まり、子どもの縦の秩序も学校内外を問わず確立されておりますことは、市内においても高い評価を得てきたところであります。

このように歴史と伝統ある大岡小学校並びに大岡幼稚園が、今日の社会的な問題である少子・高齢化の傾向による児童・園児の減少などの背景から、栗原市においても学校の再編が避けられず、本年度3月31日をもって校史・園史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで大岡小学校並びに大岡幼稚園を巣立った皆様にとって、母校の閉校・閉園は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものと拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ大岡の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

今後、「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、大岡小学校並びに大岡幼稚園が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。

大岡地区から望む秀峰栗駒山





大岡小学校の閉校、大岡幼稚園の閉園に寄せて

栗原市教育委員会
教育長 亀井 芳光

平成25年4月、大岡小学校は若柳小学校・大目小学校・有賀小学校・畑岡小学校と再編し、新生「若柳小学校」として現在の若柳小学校校舎のもとでスタートすることになりました。また、隣接する大岡幼稚園につきましても、若柳地区幼稚園の3年保育実現のため、若柳幼稚園・有賀幼稚園・畑岡幼稚園と再編し、44年にわたり地域の幼児教育を支えてきた永い歴史の幕を閉じることとなりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました大岡地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

また、若柳地区の小学校再編を進めるにあたり、教育委員会で提案する再編計画に震災のさなかではありましたが、5小学校の保護者会会長と一緒に教育委員会にお出でいただき、当初の計画では旧町村域をまたぐ再編も提案いたしました。若柳地区においては5校全てが一緒になるとのご判断をいただき、地域の皆様にも、この保護者の判断を最大限尊重いただきましたことに改めまして感謝申し上げます。

さて、大岡小学校の前身は「大林小学校」であり、明治6年の開設以来140年という永き歴史に幕を下ろすことになりました。これまで地域の皆様に親しまれながら、教育研究や教育環境づくりの充実にも熱心に取り組んできました。

大岡小学校は、「よい歯の学校表彰」が12回、「学校花壇コンクール」等緑化活動における受賞が11回を数えます。近年では、先導的教育情報化プログラムの指定やICT自主公開研究会の実施など、情報教育の分野で先導的な立場での研究推進を行いました。また、長き伝統に支えられた子ども獅子舞の取り組み、さらには、近年新しい伝統と築き上げられてきた全校児童による大岡ソーランの踊りなど、温故知新による生き生きとした教育活動が行われておりました。

しかしながら、少子化による児童生徒数の著しい減少や急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。再編するにあたり、これまで地域と共に歩み続けてきた学校や慣れ親しんできた校舎と別れることは、地域の皆様にとっては、寂しさや愛惜の念を禁じ得ないことと思えます。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた大岡小学校・大岡幼稚園の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校・幼稚園」の創造に向けて取り組んでいってくれることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会はじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる若柳小学校・大目小学校・有賀小学校・畑岡小学校・若柳幼稚園・有賀幼稚園・畑岡幼稚園の子どもたち、保護者、地域の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校を創り上げていただきたいと思います。

結びに、閉校・閉園にあたり、これまで永きにわたり大岡小学校及び大岡幼稚園を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。





永久に心のふるさと大岡小学校・大岡幼稚園

栗原市立大岡小学校
第44代校長 小野寺八重子

『大岡小学校校歌』

- 1 迫の川辺 はればれと きよらに 白い学び舎は
われらの夢をよぶところ
はげもう仲よく元気よく たのし 大岡小学校
- 2 栗駒山なみ 重畳と 自由の空に むつみあい
われらの力生むところ
学ぼうさとく根気よく たのし 大岡小学校
- 3 愛の鐘の音 さわやかに 明日の日本に ふるさとに
平和の栄えのぞみつつ 伸びようあかるく道求め
大岡 大岡 わが母校

昭和29年12月1日。町村合併により若柳町立大岡小学校と改称。8学級、全校児童291名。そして数年後に、早川榮男校長先生作詞、村松利平先生作曲ででき上がった大岡小学校校歌です。それ以降、入学式、卒業式、運動会等で60年近く歌い継がれてきました。

大岡小学校は、この校歌の通り引き継がれ、今現在の子どもたちに根付いていると見ています。

「おはようございます」

ほとんどの子が、朝立ち止まり帽子を取って元気のよい挨拶をします。とても気持ちがよく、子どもたちの心の中まで清らかで、白い学び舎のようです。

「当たり前」

集団での登下校。毎日のように続けられる異学年での集団行動は、いつしか上の学年の子が下の子を思いやる心、下の学年の子は上の子を敬う心が芽生え、次の年そしてまた次の年と受け継がれてきました。知らぬ間に下の学年だった子が、次の年には上の学年となり、自分が今までしてもらったことを下の学年にするようになり、大岡小学校の伝統として息付いています。従前より、幼稚園と小学校が一体となった取り組みをしてきたことが、7年間の中で心の絆も育んできました。

ある時、下の学年の子と一生懸命遊んでいる上学年の姿がありました。汗をかきながら、1年生をおんぶしていました。一人一人交代で何度もしていました。またある時は、登校中けがをした子の世話を上学年の子が自然のうちにしていました。これらは、すべて当たり前のこととして行動しており、感動させられました。「よいことの木」「あいさつの木」に張られるような行動がたくさんありますが、子どもたちにとっては当たり前のことなので、カードに記載することもなく時は過ぎているので、たぶん子どもたちの心の中には、たくさん「よかったこと」や「ありがとう」が積もっているものと思っています。全校児童は仲が良く、楽しい日々を過ごしています。

「がんばり屋」

一人一人が夢を持っており、何にでもがんばり通すがんぱり屋で、授業中は話に集中し、やるべきことを黙々と取り組みます。勉強も運動も行いも全てに一生懸命で、その成果は、確実な成長として表れています。日々の夢、1ヶ月後の夢、1年後あるいは将来の夢に向かい、実現のために根気よく努力を続けているのです。そんな子どもたちには、大岡小学校・幼稚園で学んだことを誇りに思い、心のふるさととして永久に生き続けてくれるものと期待しています。

「ふるさとは、野山であり、川であり、人であり、学校です。」

さかのぼること明治6年。大林寺に大林小学校が創立されてから140年。大岡の地で育った先人の方々からの、「知」と「徳」と「体」が脈々と紡がれ、今に至っています。

閉校に当たり、ふるさと大岡の地を基盤として培われてきた「大岡っ子」の精神をいつまでも持ち続け、明日の時代にさらに大きく大きく伸びていってほしいと願っています。





大岡小学校閉校に寄せて

栗原市立大岡小学校
父母教師会会長 菊地 睦

思い起こせば6年前、長女が小学校入学を迎え、初めて大岡小学校の門をくぐりました。

私は本校の卒業生ではありませんでしたので、我が子ともども「どんな学校だろう」「どんな小学生生活が待っているのだろう」という期待と不安を抱いていたことが思い出されます。新学期が始まると親の心配をよそに、子供は毎日楽しそうに学校へ通います。「何が楽しいのだろう？」その答えはすぐに分かりました。少人数の強みです。子供同士はみんな仲良く、先生方の目も行き届き伸び伸びとし、勉強に運動に遊びに全力でした。また、地域の拠点として多くの期待とご協力が寄せられており、特に郷土芸能の伝承は子どもたちにとってかけがえのないものでした。運動会などの学校行事やPTA活動では、「学校」「PTA」「地域」が一体となり取り組んでまいりました。そのような姿を子供たちに見せることにより、勉強以外の部分でも学ぶことが多かったことは、子どもたちにとって何よりの思い出であり財産であると確信しております。そんな学校が時代の流れとはいえ、閉校となることは残念ですし寂しくもあります。今、ここにある「子供たちの思い」「親の思い」「地域の思い」を新設若柳小学校に大いに寄せ、期待し、まずは子供たちにとってより良い学校となるように繋げていきたいものです。

「学校」とは？今更ながら考えることがあります。学力を身に付けるところ、心の成長を促すところ。もちろんそれが本文とは思いますが、実はそれだけではないような気がします。地域に学校があるということはそこに通う子供たちのみならず、卒業生やそこで暮らす方々の拠り所となっているのではないのでしょうか。学校を中心として一つのコミュニティが成り立っており、私たちはそんな地域の拠点の一つである学校を失うわけです。これからは単に学校再編という視点ではなく、コミュニティをどう結びつけ盛り上げていくかも課題の一つとなるかと思えます。学校が閉校されても、大岡地域の伝統や結びつきが希薄なものにならないことを願います。

私はこの2年間PTA会長の責務を任されてまいりました。長女が最後の卒業生、長男が最後の入学生、そして私が最後のPTA会長という奇妙な巡り合わせでした。これも何かの縁と思い、微力ながら務めさせて頂きました。会員の皆様をはじめとし、関係する全ての皆様、また、地域の皆様のご指導とご協力の下、この重責を全うできましたこと、心より御礼申し上げます。

子供たちの限りない可能性がいつか実を結び、光り輝いてくれることを願います。





学校及び地域の実態

栗原市の旧若柳町地区は、ラムサール条約指定湿地の伊豆沼を抱え、迫川も流れていることから水辺の町と言われている。大岡地区は古くから迫川の水運によって栄えた。春、迫川を挟む堤防の桜並木が咲きそろふ様子は圧巻である。産業は、稲作を中心とした農業（兼業）が大部分である。交通は、東北道若柳金成ICから3kmと至近で、また県道中田栗駒線通称アクセス道路があり便利のため、学区内の工業団地にリサイクル工場等が多く存在する。

家庭や地域社会の学校教育への関心が高く、学校行事等への参加率が大変高い。また、PTA活動も活発で、学校教育への協力を惜しまない。

児童数37名、特別支援学級1学級を含めて5学級で一部複式となっている。幼稚園から7年間ほぼ変わることなく全員一緒に生活することで、仲間意識が強く、思いやりの心に満ち協力的である。児童の縦の秩序も学校内外を問わず確立されているために集団としてのまとまりが強い。

児童は、素朴で素直であり。友達同士で明るいあいさつを交わし合い、来校者への気持ちのよいあいさつも評価が高い。少人数であるために、個別指導は徹底しやすいが、集団としての競い合う機会が少ないという課題が見られる。

平成19年度から全教室に実物投影機、プロジェクタを設置してICT機器を活用した授業を取り入れている。



幼稚園の実態（H24休園）

- 園舎は小学校敷地内東側に平成4年1月に完成し独立園となり、5歳児学級の1年保育である。
- 平成21年度は、休園であったが、平成22年度は園児（男児のみ4名）が入園し、小学校との連携（特に低学年との交流）、地域との連携（お年寄り、未就学児との交流）、同年齢の近隣の幼稚園との交流など、様々な体験活動を通して関わる力を育ててきた。また、平成23年度は、園児7名が入園してきた。公立幼稚園・公立保育園を経てきていたので集団生活にすぐに慣れた。明るく元気がよく、伸び伸びと育った。
- 保護者や地域の人々は教育に対する関心も高く、協力的であった。
- ほとんどの家庭が、両親ともに勤めにでており、降園後は祖父母と過ごす幼児が多かった。
- 今年度は、休園であった。

学区略図





校舎のようす

学校平面図



校舎配置図





	年月日	沿革	
明治	6. 8. 14	大林小学校開設	
	15. 5.	大岡小学校と称す 大岡初等小学校と改称	
	16.	福岡に支校を設置	
	17.	福岡支校を廃止	
	19.	大岡尋常小学校と改称	
	20. 4	姉齒分教場を設置	
	22. 7	姉齒分教場を分離 校舎を建築、移転（要害72へ）	
	35. 4	農業補修学校を開設	
	38. 3	農業補修学校を廃止	
	. 4	高等小学校を併設	
	. 4	大岡尋常高等小学校と改称	
	41. 9	校舎改築、起工	
	42. 12. 3	改築校舎落成	大正10年 栗原電鉄 石越 - 沢辺間 (8.85km) 開業
	43. 11.	校地 194 坪拡張（加藤三郎氏、加藤丈四郎氏寄贈）	
44. 6	農業補修学校を付設		
大正 昭和	14.	二階建校舎建築 120 坪（5 × 12 間）	
	7. 3.	校地 870 坪拡張	
	16. 4.	大岡国民学校と改称	
	22. 4.	大岡村立大岡小学校と改称（学制改革）	
	23.	便所、昇降口改築、放送設備整備	
	27. 11. 23	学制発布 80 周年記念式典挙行	昭和16年度 国民学校修了証書
	29. 12. 1	若柳町立大岡小学校と改称（町村合併）	
	29. .	老朽危険校舎に指定	
	30. 12.	味噌汁給食実施	
	32. 4.	中学校統合し旧大岡中校舎を使用	
	33. 12.	牛乳給食開始	
	35.	校舎改築工事	
	36. 3. 10	校舎落成（総2階、342坪、木造モルタル）	校舎落成 昭和36年3月
	6.	上水道完成	
	10.	旧校舎解体	
	12.	二宮尊徳像設置（三浦喜勢治氏寄贈）	
	37. 4.	宮城県北地震（震度4）校舎に亀裂	
	38. 8.	西校舎（大正14建築）解体	
39. 3.	校歌制定		
. 4	統計教育研究校指定（県教委）		
. 5.	鼓笛隊編制		
40. 10.	統計教育研究公開		
42. 7. 17	簡易プール完成（ビニル貼り）		
43. 10.	音楽教育研究公開（栗教協）		
11. 1	全教室にテレビ設置		
44. 4	若柳町立大岡幼稚園開園		
46. 9	相撲場落成（pta奉仕、篤志寄付）		
48. 8	西校舎解体、体育館建設工事着工		
49. 2	体育館落成		
. 2	創立100周年記念式典挙行、同窓生名簿発刊		
. 6.	ビニルプール全面貼替え		



大正10年 栗原電鉄 石越 - 沢辺間 (8.85km) 開業



昭和16年度 国民学校修了証書



校舎落成 昭和36年3月



プール完成 昭和42年7月



創立100周年記念式典



年月日	沿革	
昭和 50. 4	体育館通路（鉄筋トタン貼り）完成	 <p>花見会食</p>
52. 3. 1	日時計設置（菅原安治氏寄贈）	
. 5.	国旗掲揚塔設置	
55. 3.	保健室新設、 幼稚園独立園舎落成式	
56. 4. 1	家庭科室、音楽室通路完成	
57. 6.	プール金網・更衣室修理	
58. 7.	家庭科室椅子購入、教室床貼替え	
59. 5	焼却炉設置、ポータブルアンプ購入	
8.	体育館外壁・床面塗装、教室床板貼替	
60. 4	金銭教育研究校委嘱	
7.	ビニルプール全面貼替	
8. 4	新校舎建築地鎮祭	
61. 3.	校舎跡地に記念碑建立	
3. 9	校舎新築記念式典	
3. 9	タイムカプセル収納式（旧校舎記念碑）	
3.	引越し作業（11 日～13 日）	
	グランドピアノ寄贈（鹿野琢見氏寄贈）	
	国旗掲揚塔設置（三浦光恵氏寄贈）	
7. 3	宮沢賢治詩碑除幕式（三浦隆治氏寄贈）	
10. 3	プール引継ぎ式	 <p>入校式 昭和 61 年</p>
11. 21	校舎落成式（町主催）	
62. 2. 4	金銭教育研究公開	
9. 9	バックネット設置	
	校庭西に築山造成	
63. 3. 27	校庭西に植樹（三浦光恵氏寄贈）	
10. 22	木製遊具一式落成（PTA 寄贈）	
平成 元. 3.	日本庭園完成（体育館及び教室前）	
7.	「獅子舞」奨励賞受賞 （大崎栗原地方定住圏計画推進委より）	
9.	よい歯の学校表彰 （宮城県学校歯科医師会より）	
11.	校庭南に鉄棒移設 獅子舞道具寄贈（大岡コミュニティより）	
12.	校舎南側アスファルト舗装	 <p>昭和 61 年 たびだちの大運動会</p>
2. 2.	獅子舞用具収納戸棚設置	
7. 8	タイヤ遊具の設置（PTA 奉仕作業）	
7. 24	校舎・体育館屋根塗装工事	
2. 8. 1	インターハイホッケー開会式に獅子舞がアトラクション出演（4～6 年）	
10. 9	校舎前側溝に蓋取付	
11. 10	よい歯の学校表彰（県学歯科医師会）	
12. 9	運動用砂場設置	
3. 3. 12	陸上用ユニフォーム 30 着購入	
8. 1	坂登棒・うん梯設置	
11. 19	果樹苗木植樹祭（二階堂孝輔氏苗木 26 本寄贈）	
4. 4. 1	開校記念日制定（1 2 月 1 日）	
. 23	学校みどりの日記念植樹式	
5. 18	平成 4・5 年度勤労生産学習研究推進校指定（文部省）	
8. 21	農業倉庫、農作業用洗い場設置	



年月日	沿革	
平成 4. 9. 15	花壇設置 (PTA奉仕作業)	
11. 21	よい歯の学校表彰 (県学歯科医師会)	
12. 8	ガス配管工事	
5. 2.	青少年赤十字優良校表彰 (日赤県支部)	
. 26	幼稚園新園舎落成式	
4.	校地内西側舗装	
8. 10	ルーフガーデン、手摺り、外階段塗替え	
10. 22	勤労生産学習研究公開 (文部省指定)	
. 23	よい歯の学校表彰 (県学歯科医師会)	
11. 25	学校花壇コンクール入選	
6. 8.	よい歯の学校表彰 (県学歯科医師会)	
11. 6	ワイド TV と VTR 寄贈 (佐藤彦一郎氏)	
7. 3. 9	玄関扉改修、校舎北側スロープ設置	
4. 1	ボランティア活動普及事業協力校指定 (県社会福祉協議会)	
4. 1	青少年赤十字研究校委嘱 (日赤県支部)	
9. 2	学校花壇コンクール優良賞	
. 29	校庭整備事業完成	
11. 22	よい歯の学校表彰 (県学歯科医師会)	
12. 25	くりはら田園鉄道「大岡小前駅」開業式	
8. 5. 19	勲功章受賞:平成7年度県民体育大会相撲競技大会で団体の部優勝のため (若柳町体育協会)	
8. 12	浄化槽のフェンス工事	
8. 20	放送用ビデオカメラ設置	
9. 7	よい歯の学校表彰 (県学歯科医師会)	
10. 19	青少年赤十字研究発表 (秋祭り)	
11. 27	学校花壇コンクール入選 プール塗装工事	
9. 1. 24	花いっぱいコンクール優良賞	
3. 11	プール東側斜面「オオオカ」植栽	
. 15	校庭南側に植樹 (ベニカナメモチ151本)	
5. 12	みどりの少年団植樹 (ナンテン、サカサマ)	
5. 18	全校植樹祭参加 (南蔵王野営場) 緑化功労賞 (青少年の部) 受賞	
6. 17	空かん鳥<缶潰し機>設置 (町より)	
9. 6	よい歯の学校表彰 (県学歯科医師会) 10年連続よい歯の学校表彰 (同上)	
9. 18	科学巡回指導 (サイエンスカー来校)	
11. 27	学校花壇コンクール優良賞	
10. 1. 23	花いっぱいコンクール優良賞	
5. 23	交通少年団感謝状受賞 (交通安全指導)	
7. 17	築山遊具の部分修理	
8. 22	校舎屋上防水工事	
. 31	臨時集団下校 (長雨による増水のため)	
9. 5	よい歯の学校表彰 (県学歯科医師会)	
11. 19	樹木移植 (理科室北側から農園北側へ)	
. 27	学校花壇コンクール入選	
12. 21	加湿器設置 (各教室等)	
11. 8. 20	プール東斜面「オオオカ」柵設置	
. 31	校舎屋根塗替え	
9. 1	パソコン11台及び周辺機器設置	

幼稚園新園舎 平成5年

イモ掘り 平成6年

学校花壇コンクール入選 平成8年

運動会 平成10年

修学旅行 平成11年





年月日	沿革
平成 11. 9. 4	よい歯の学校表彰（県学歯科医師会）
. 30	多目的ホール上部屋根改修
11. 25	学校花壇コンクール入選
12. 4. 1	心を育む教育活動推進校指定（宮城県及び若柳町より）
5. 1	財務会計用コンピューター設置
7.	エアコン設置（校長室に2台）
8.	体育館屋根塗替え
9. 2	よい歯の学校表彰（県学歯科医師会）
11. 24	学校花壇コンクール優良賞
13. 3. 3	「心をはぐくむ教育」実践発表会
4. 2	軽トラック配備
6. 21	エアコン設置（職員室に2台）
8. 23	校舎屋外鉄筋階段の塗装
11. 22	学校花壇コンクール入選（奨励賞）
14. 1. 23	防犯灯2基設置
6. 20	エアコン設置（保健室に1台）
7. 29	校舎屋上防水シート修繕
15. 3.	展望台壁面塗替え、鐘の修繕
11. 21	多目的ホールに相談室間仕切り
16. 3. 18	校歌作曲者村松氏より校歌のピアノ伴奏譜の寄贈
9. 1	コンピュータ、プリンター入れ換え（児童用12、教師用1） 教師用ノートパソコン7台新規設置
17. 4. 1	愛鳥モデル推進校指定 町村合併により、栗原市立大岡小学校、 栗原市立大岡幼稚園 に改称
18. 3. 16	体育館入り口屋根防水工事
10. 16	体育館外階段塗装工事
10. 31	教室等スラブ11台入れ替え
19. 3. 2	1階床下ピット排水工事
6	先導的教育情報化プログラム指定
20. 6. 14	岩手・宮城内陸地震
21.	入園希望がないため、幼稚園休園
11. 27	ICT自主公開研究会開催
23. 1. 11	「110番教室」開催
3. 11	東日本大震災により被災
4	学力向上サポートプログラム事業 若柳地区小学校再編準備委員会設置
24. 4	幼稚園休園



秋祭り 平成12年



サマーキャンプ 平成14年



卒業式 平成16年



郡陸上大会 平成17年

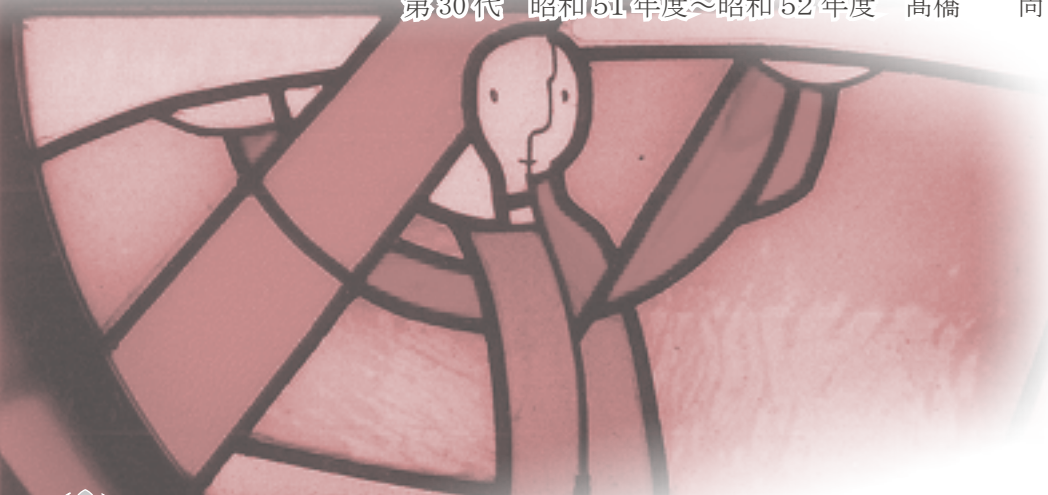
※太字は幼稚園





歴代校長

初代	明治 6 年度～明治 9 年度	佐々布洞安	校長
第 2 代	明治 10 年度～明治 11 年度	富岡 清蔵	校長
第 3 代	明治 12 年度	佐々木秀治	校長
第 4 代	明治 13 年度～明治 15 年度	都倉佐太郎	校長
第 5 代	明治 16 年度	保田 大光	校長
第 6 代	明治 16 年度	成田 伸房	校長
第 7 代	明治 17 年度～明治 18 年度	八重柏義孝	校長
第 8 代	明治 19 年度	原 律平	校長
第 9 代	明治 20 年度～明治 21 年度	生出亀之進	校長
第 10 代	明治 22 年度～明治 24 年度	瀬戸市郎治	校長
第 11 代	明治 25 年度～明治 27 年度	真山 元	校長
第 12 代	明治 28 年度～明治 30 年度	武田 用蔵	校長
第 13 代	明治 31 年度～大正 11 年度	加藤大三郎	校長
第 14 代	大正 12 年度～昭和 2 年度	谷 民慈	校長
第 15 代	昭和 3 年度～昭和 5 年度	菅原 哲	校長
第 16 代	昭和 6 年度～昭和 7 年度	澤邊 繁治	校長
第 17 代	昭和 8 年度～昭和 9 年度	鹿野 英吉	校長
第 18 代	昭和 10 年度～昭和 11 年度	佐藤 啓吾	校長
第 19 代	昭和 12 年度～昭和 14 年度	大津 一郎	校長
第 20 代	昭和 15 年度～昭和 19 年度	高橋 俊夫	校長
第 21 代	昭和 20 年度～昭和 21 年度	高橋 稔	校長
第 22 代	昭和 22 年度	宍戸 武一	校長
第 23 代	昭和 23 年度～昭和 27 年度	千葉 英夫	校長
第 24 代	昭和 28 年度～昭和 30 年度	小野寺政之	校長
第 25 代	昭和 31 年度～昭和 37 年度	早川 榮男	校長
第 26 代	昭和 38 年度～昭和 39 年度	小泉 本治	校長
第 27 代	昭和 40 年度～昭和 43 年度	津軽 克郎	校長
第 28 代	昭和 44 年度～昭和 47 年度	佐藤 信一	校長
第 29 代	昭和 48 年度～昭和 50 年度	高橋喜四郎	校長
第 30 代	昭和 51 年度～昭和 52 年度	高橋 尚	校長





第31代	昭和53年度～昭和55年度	鈴木 輝雄	校長
第32代	昭和56年度～昭和58年度	菅原 毅	校長
第33代	昭和59年度～昭和61年度	宮藤 紹平	校長
第34代	昭和62年度～昭和63年度	蘇部 光雄	校長
第35代	平成元年度～平成2年度	大場 茂	校長
第36代	平成3年度～平成5年度	高橋 孝	校長
第37代	平成6年度～平成9年度	村上 泰子	校長
第38代	平成10年度～平成13年度	熱海 正武	校長
第39代	平成14年度～平成15年度	千田 幸助	校長
第40代	平成16年度～平成17年度	三村 和壽	校長
第41代	平成18年度～平成19年度	佐藤 達也	校長
第42代	平成20年度～平成21年度	佐藤 公保	校長
第43代	平成22年度～平成23年度	戸田 恵雄	校長
第44代	平成24年度	小野寺八重子	校長



歴代父母教師会会長

初代			
第2代	昭和23年度～昭和26年度	三浦 光保	第19代 昭和57年度～昭和58年度 三浦 克己
第3代	昭和27年度～昭和28年度	小泉 清志	第20代 昭和59年度 二階堂文子
第4代	昭和29年度～昭和30年度	二階 とら	第21代 昭和60年度～昭和61年度 菅原 和夫
第5代	昭和31年度～昭和32年度	鹿野 利大	第22代 昭和62年度～平成元年度 加藤 榮幸
第6代	昭和33年度	三浦 壽	第23代 平成2年度 小野寺 茂
第7代	昭和34年度～昭和35年度	熊谷 正	第24代 平成3年度～平成5年度 菅原 貞治
第8代	昭和36年度	鹿野 利大	第25代 平成6年度 三浦 達吉
第9代	昭和37年度～昭和38年度	佐々木 淳	第26代 平成7年度～平成8年度 畑中 吉寿
第10代	昭和39年度～昭和41年度	加藤 謹悦	第27代 平成9年度～平成10年度 菅原 浩
第11代	昭和42年度	佐藤 利寿	第28代 平成11年度 菅原 武芳
第12代	昭和43年度	小野寺義介	第29代 平成12年度～平成14年度 高橋 順
第13代	昭和44年度～昭和45年度	加藤昭太郎	第30代 平成15年度 小松 清喜
第14代	昭和46年度	鹿野富士夫	第31代 平成16年度 阿部まゆみ
第15代	昭和47年度	三浦 直治	第32代 平成17年度 加藤 久也
第16代	昭和48年度～昭和51年度	二階堂孝輔	第33代 平成18年度～平成20年度 菅原 篤
第17代	昭和52年度～昭和54年度	菅原 平	第34代 平成21年度 二階堂 賢
第18代	昭和55年度～昭和56年度	鹿野 功	第35代 平成22年度 三浦 洋一
			第36代 平成23年度～平成24年度 菊地 睦

**大きい学校、楽しい学校**

第38代校長 熱海 正武

私が大岡小学校に赴任し、お世話になったのは平成10年～14年にかけてです。学校を「玉造地区」「石巻地区」「登米地区」と転勤し、久しぶりに栗原に戻ってきました。栗駒山に抱かれた栗原耕土の地は、ふるさとに帰ってきて懐かしい気分になりました。自宅の一迫地区から学校まで、東に向かい新幹線と交わるように車で走って来て、少し手前で有名な『もぐり橋』を渡ると、もうすぐ学校でした。田園に、ピンと背筋を伸ばしたように建っている白い美しい建物が学校、という印象でした。

『大河の交わる場所に文化あり』とよく言われておりますが、まちがいなく大岡は伝統と文化が息づき、愛され、育まれているように思われます。

小学校最後の6年生が自信をもって舞う獅子舞『悪魔払い』もその一つと言えます。学年始めの頃は、上級生の手まね、足まねの手ほどきで踊りの練習をしますが、地域の方の指導も加わり、段々と巧みさと共に楽しさが加わってきます。そして、6年生の秋頃になると、すっかり魅力的な舞になりました。若柳公立病院から、入院している皆さんにぜひ見せてほしいとのお誘いがあり、意気揚々とボランティア活動に参加しました。廊下いっぱいになった病院の皆さんから、たくさんの拍手をもらってニコニコと学校に帰ってきました。みんな幸せになった気分でした。

校舎の北側に「学校栽培園」があります。学年、学級、全校で、それぞれのカリキュラムで植物の育て方を学習していました。その管理と指導に、地域の方々のお世話が大きな力になっていました。時期がくると、トラクターで広い畑が耕されました。授業では、植物の育て方のポイントに心のこもった指導をたくさんいただきました。これは通り一遍のかかわりではなくて、目に見えない「愛情」の指導なので、私たち教職員もいっぱい勉強になりました。植物に水をかけるという一つのことだけでも、子どもたちに大切に伝えられてきたように思いました。

秋には、田んぼを借りて育てた稲刈り体験の作業をしました。学年が進むにしたがって、力強さ、頼もしさが目立ってきました。また、農機具庫の中を見ると、作業が終わった後の始末までもがしっかり為され、やはり、継続は力なのだ納得しました。地域の方々に、田園鉄道の車窓から手を振って応援ももらいました。

おおまかに迫川に沿った地域と田園鉄道の沿線の地域に囲まれた学区では、上級生のリーダーが先頭、次に幼稚園、1・2年生そして上の学年へと続く集団登下校でした。交通量の多い道路の横断に、地域の方の温かくしっかりした目と声が添えられて、いつも元気よく歩いて通学することができました。熱心な教職員に営まれる学校と、それを囲む地域の方々の愛情と励ましがいっぱい溢れていました。そしてそれは大きな学校、それは楽しい学校でした。



稲刈り 平成13年





大岡小学校の思い出

第41代校長 佐藤 達也

この文を書くため大岡小学校に行き、公民館前から境・小谷町・谷地畑・福岡と歩いてきました。通学路にあった豚舎は無くなり、新しい家も建っており、栗電の駅舎跡には「大岡小前駅」「谷地畑駅」の石柱が立てられてありました。

しかし、「広禅寺」や「清川神社」の森は5年前と同じたたずまいで迎えてくれました。

「大岡小学校」に戻り校舎を見ますと、3階部分の大きな時計、4階部分には校歌に出てくる鐘のある真っ白い校舎、まるでグリムのお話にでも出てくるような小学校だと、平成18年3月に初めて訪問した時と同じ気持ちになりました。

そして、あの頃の元気な子どもたちの声に迎えられるように校門に立ちました。

学校に一番近かったMさん、大きなランドセルを背負い道端に咲いている花とお話をしながら登校時刻ぎりぎりに校門をくぐり、手には木の葉を持ち「先生にお小遣いです。今日は〇〇円ですよ。」と、笑顔で渡してくれた姿を思い出しました。

大岡小学校には、2年間だけの勤務でしたが思い出はたくさんあります。

平成18年4月に、56名の児童の皆さんと11名の教職員の皆さんとの生活が始まりました。朝、校門で待っていますと「おはようございます。」と元気のよい挨拶ももどかしく、昇降口に向かって走る姿が目には浮かびます。

ランドセルを置くと、高学年の皆さんが下学年の皆さんをお世話しながら、仲良く校庭で遊ぶ姿を見て、小規模な学校の良さを教えてもらいました。

学習面でも授業へのコンピュータの積極的な取組と授業の公開、またボランティアの皆さんによる「絵本の読み聞かせ」、地区の篤農家加藤さんのご指導による米作り、農園でのサツマイモ栽培等、地域の皆さんの学校への熱い思いを強く感じた毎日でした。

低学年の皆さんとの下校も楽しい思い出となっています。家に近付くと門から入らず、生け垣の間をくぐって帰ったK君、教室でのお話を楽しく話してくれたT君等、つつい子どもたちと離れられなくなり、若小学区境まで歩いたこともたびたびありました。

また、道でお会いたした皆さんや畑や田んぼでお仕事をしていた皆さんが、仕事の手を休め笑顔で、「お帰りなさい。」「車に気をつけて歩くんだよ。」と声掛けをしてくれました。子どもたちを優しい気持ちで見守っていただきました。

私事になりますが、平成19年3月に腰椎間板ヘルニアを発症し、右足が麻痺して動かなくなり、入院して手術することになりました。卒業式には何とか出席できましたが、式終了後すぐ病院に戻り手術を受けました。

児童の皆さん、保護者の皆さん、そして教職員の皆さんには言葉では表せないほどのご迷惑をおかけしました。

入院中に、何度もお見舞いや励ましの写真やお手紙をもらいました。4階の病室のベッドから窓越しに、ランドセルを背負い歩いている小学生を見るたびに、「もう一度大岡小学校の通学路をみんなと歩きたい!」との思いが強くなり、看護師さんに、「一度に無理をして歩かないで。」と注意されたことも何度かありました。

また、病院には大岡小学校を卒業された方がいて「私の母校の先生です。」と主治医や看護師さんたちに紹介してもらい、ますます大岡小学校への思いが強くなりました。「真面目に治療に専念せねば。」と、歩行器、車椅子、松葉杖、ステッキ等を使ったりハビリも、大汗を流しながら頑張りました。

このように元気で歩けるようになったのも、大岡小学校の皆さんからいただいたお力のお陰だと心から感謝しております。

「大岡小前駅」跡に立ち、なんと恵まれ幸せな2年間だったのだろうと改めて感じて帰りました。

新生の若柳小学校となりますが、これまでの大岡小学校の伝統を基に、新しい未来に向かって歩み続けられますことを願っております。



農園でのサツマイモ栽培





大岡っ子の未来に託す

第43代校長 戸田 恵雄

大岡小学校が地域の宝として大切にされ、たくさんの皆さんから大きな支えをいただきながら、140年の歴史を刻んできたことはだれもが誇りとしていることだと思います。私はわずか2年間の在職期間しかありませんでしたが、地域の皆さんの温かく力強い心が子どもたちに向けられ、子どもたちを育てていることをたっぷりと感じ取ることができました。

田植えや稲刈り、境獅子舞い、運動会、学芸会、秋祭り、PTA行事、地域の行事、さらには幼稚園の様々な行事に至るまで、「子どもは地域の宝」という思いが地域の皆さんの行動となって、毎日具現されていたと思っています。加えて、東日本大震災での地域防災組織の迅速かつ緻密な動きは、地域の大人の力を子どもたちにしっかりと見せてくれたと思います。また、大岡幼稚園の事実上の閉園を目前にしてPTAが開催した「さよなら会」では、たくさんの方が参加され、地域の宝を大切にしている姿をしっかりと子どもたちに見せてくれました。

私も「大岡っ子」の成長を願い、「気が付くこと」「考えること」「判断すること」「行動すること」の大切さをアピールしてきました。自分の周りの変化にパッと気づくことの大切さ、物事の流れの中に隠れている何かに気づくことの大切さ、「なぜだろう」「どうすればよいのだろう」「どう工夫したらよいのだろう」と考えることの大切さ、「大切なことは何なのか」「優先させるべきものは何なのか」を判断することの大切さ、実際に自分の力でやってみることの大切さを知ってほしい、身に付けてほしいと考えました。

春にはチューリップの花の数に目を向けさせました。枝咲きと先祖返りの違いを利用し、気付かせ考えさせました。夏にはペットボトルロケットを打ち上げ、なぜ飛ぶのか、もっと遠くに飛ばすためにはどうしたらよいのかと質問し、実際に試させたりもしました。秋には松の種子を飛ばさせました。ヘリコプターの回転翼のように回りながら落ちていく種子に、なぜわざわざ回転しなければならないのか、新型の飛行機に応用できないかなどと具体的に考えさせました。冬にはロボットを動かさせながら、動物の動きを観察してロボットに活用することの例を見せ、よく観ること、気付くこと、そして具現化することの大切さに触れさせました。先人の偉業にも触れ、故鹿野琢見氏が意を決して故郷を離れ弁護士になり力を尽くしたことを示しながら、自分で判断し行動することの大切さも説きました。そしてこれらの集大成として、6年生には果物の汁で実験をさせ、科学の世界にちょっぴり足を踏み込ませたりもしました。子どもたちに気づかせ、考えさせ、判断させ、行動させるということを実際に体験させながら理解させようとしたわけです。それは「楽しかった」と言うだけでは終わらない難しい世界のことなのですが、子どもたちはみんな懸命に理解しようと食いついてきました。その姿に、中学校や高校に行ってさらに勉強を重ねることで、きっと皆さんの生き方を支える力になるという手応えを感じることができました。

「人は人に支えられて生きていく」とよく言われますが、逆の見方をすれば「自分が他の人を支えていくことも大切だ」と言っていると思います。大岡っ子は自分の生き方を強くたくましくするだけでなく、他の人のために活かす力もより強くたくましいものにしていくと私は信じています。大岡小の140年の歴史は閉じて大岡の歴史と大岡っ子の気概は残り、そして続いていきます。世のため人のため、皆さん一人一人がそれぞれの立場で力を発揮し、活躍して欲しいと願っています。





閉校を惜しむ

昭和11年度卒業 加藤 作三

私どもの母校、大岡小学校も学区再編により、本年度限りで閉校の運命にあり、誠に残念に思います。時代の変化、流れに従い子どもの減少を止めることができず、自然の理とあきらめざるをえないことでありましょう。

母校は、百数十年の長い歴史の中で、多勢の先輩、後輩の育成に貢献をしてきました。昭和49年には「学舎創立百周年記念事業」を祝し、昭和61年には、現在地に学校新築、移転記念事業の一環として思い出の文集が出版され、その功績は永久に残ることになりました。

それ以後、幾星霜も経ないのに時代の変遷と人間生活の核家族化等の原因により、平成24年に至り、学区編成という大儀より閉校の憂き目にあうことになりました。何とも惜しまれる閉校でありましょう。

戦前、戦中は「うめよ、ふやせよ」という国策時代で、昭和6年、私どもの入学は56名おりました。従って、6学年までの全児童はいつも三百数十名おり、教室はいつもにぎやかでした。

平成時代の本年度は、入学児童が8名ということです。ちなみに、2名の児童の学年もあり、全校児童数も三十数名という現状では、将来増加する見込みもなく再編による閉校ということも納得せざるを得ないことでありましょう。

通学距離とか種々の問題があることと思いますが、早急に順応されて、元気で楽しい教育が受けられることを切望します。



お別れ記念誌 昭和61年

大岡小学校の思い出

昭和13年度卒業 千葉 四郎



学舎百年 昭和48年

この度、小学校再編に伴い母校が閉校になります。

「学舎百年大岡小学校の歩み」誌によれば、明治6年の学制発布で大岡小学校が創立し、初代校長は、佐々布洞安先生でした。

昭和48年度の創立百周年の記念事業には、二人の親としてかかりました。待望の体育館が新築され、五百余名で落成祝賀会を催しました。さらに、東京在住の卒業生であり恩師でもある鹿野琢見弁護士より、校旗が寄贈され、在校生と共に感謝の樹立式を挙行し、先生に参席していただきました。

さらに、百周年誌編集委員会の事務局を担当し、当時在職されていた齋藤和夫先生と二人三脚で「記念誌」「同窓会名簿」の作成のため、有志と共に昼夜作業に取り組みました。第29代高橋喜四郎校長先生のご理解で、学識経験豊かな和夫先生を宿直室へ缶詰にして、家内の給食と毛布で暖を取り執筆していただきました。明治、大正、昭和と続く激動期に巣立った四千名に近い卒業生、奉職の先生方、在校生等から投稿いただき、見事な誌を後世に残すことができました。私の生涯の思い出です。

また、旧校庭の相撲場、これも金子哲郎元県議国体相撲選手外のご寄付で落成、土俵開き大会を催しました。校外のできごとでは、新幹線工事に伴う補償的工事としての大林町区学童通学路の安全柵や大林町駅前道路の押しボタン式信号機と福岡板倉堰脇通学路の指定標識の設置で安全措置を行いました。県道小谷町横断歩道に、父兄の投稿で昼夜共用の標識灯が設置され、私も、登校児童の横断に安全旗で街頭指導として案山子役を努めた若き日が懐かしく思い出されます。新校舎脇に空き缶回収機を町一番に設置していただき、学童と共に資源回収に奉仕できたのも、健康な体で過ごせたおかげでした。「いつまでもPTA会員」と自負し、歴代の先生方のご指導をいただいたり、学校行事のご案内をいただいたりと幸福な高齢者です。

私と学校とのかかわりを書きましたが、これもみな当時のPTA会員の皆様とのつながりや絆があったればのことです。あらためて御礼申し上げます。明治、大正、昭和と三代にわたり、父、兄姉妹、そして我が子と12人が巣立った母校。閉校になっても「時計台」と「鐘の音」だけは残してほしいと願い、栗原市の教育のますますの発展を念じ、思い出の記とします。さようなら、大岡小学校。

**大岡小学校閉校に関しての思い出**

昭和31年度卒業 加藤 忠典

大岡小学校を卒業してから54年。私の記憶では、今の校舎は3度目で、築25年ぐらいいか経っていないと思います。閉校、廃校にするにはもったいない。しかし少子高齢化の波には、どうしようもありません。

私の母親は94歳になりますが、すこぶる元気です。学校から自宅までは200メートルぐらいいか離れていませんので、母は、毎朝の学校放送で目を覚まし、子どもたちの甲高い声や楽しげな声が、母には何のものにもかえがたい「元気の源」になっています。時々私に、「寂しくなるっちゃんあ。」と言ってます。全くその通りです。

さて、小学校について、思い出して書いてみたいと思います。

昭和29年に若柳町が町村合併致しました。4年後に、私たちが小学校を卒業して中学校に入学するのが当たり前でした。しかし、当時は学校統合問題等により、父兄たちが統合反対ということで、1か月あまり旧大岡中学校で、「やま学校」（先生たちは、皆教員資格があったのかどうか）をしました。その影響で、私たちの同級生は金成中(当時は沢辺中)と若柳中にばらばらに進学しました。今でも同級会等には集まりが芳しくなく、交流も少ない、少し寂しい思いをしています。

また、幼稚園に関わる思い出もあります。

大岡地域に、初めて幼稚園の園舎を建設することが話題になり、みんなで喜んだものでした。ところが、建設場所で反対運動が起こりました。私は当時、幼稚園のPTA会長をしていた関係で、大変苦勞したことを思い出します。大岡幼稚園も小学校と共に閉園すること、さらに寂しさを味わっています。

齢60年の間にいろんなことがありました。私の心の中にそっとしまっておきましょう。

大岡小学校、本当にご苦勞さんと言いたいです。ありがとう。

**時代**

昭和62年度卒業 和久 敬哉

私が大岡小学校を卒業してから、もう25年も経ちました。6年間お世話になった大岡小学校が、今年度で閉校になるのは、とても寂しく思います。

6年間の学校生活の中で、いろいろな楽しい思い出が数え切れないほどあります。

一番印象深く心に残っているのは、旧木造校舎から新校舎への引っ越しでした。木造の歴史ある校舎から、真っ白いピカピカの校舎へ移り、一番驚いたのは、高い時計台でした。子どもながらに、「高いなあ。」と感動したのを今でも忘れられません。

たくさんの友達と出会い、下校時刻も忘れ夢中になって、へとへとになるまで遊び、毎日が充実した時間を過ごしました。



真っ白いピカピカの校舎 昭和61年

時代が変わり、今、自分の子どもたちが大岡小学校に通い、自分が楽しんだ時間を同じ校舎、同じ景色の中で学んでいます。子どもたちの目には、閉校がどう映っているのでしょうか。

変わらなきゃならないこと、忘れちゃいけないこと、自分は、大岡小学校で学んだことや思い出を忘れずに過ごしていきたいと思います。

「ありがとうございました。大岡小学校。」





人との出会い

平成18年度卒業 三浦 太郎

私の母校である大岡小学校が閉校すると聞いたとき、卒業してから6年近くになり、何げなく通り過ぎていく学校から、子どもたちがいなくなってしまうという現実、寂しさを感じました。

私が大岡小学校に入学したとき、クラスには7人。それから6年間、いろいろな事を体験しました。人数が少ない分、運動会や秋祭り等の学校行事では、先生方のご指導はもちろん、家族、地域の皆様の協力に支えられながら、上級生、下級生共に力を合わせて、楽しく過ごすことができました。また、地域の皆様には、登下校時に声を掛けて見守っていただきました。

私には今でも、大岡小学校時代の先生から手紙が届きます。先生は、私が卒業する前に退職されたのですが、中学校入学、卒業、高校入学、その他にも励ましの手紙を送ってくれます。見守ってくださる方がいるということは、私にとって心強い気持ちになります。

大岡小学校という小さいけれど、とても温かい学校の中で、すばらしい先生、友達との出会いや大切な時間を過ごすことができ、本当によかったと思っています。

大岡小学校のみなさんには、これから統合することで、大きな学校だからこそ学べる事もたくさんあると思います。いろいろな事を吸収して、すばらしい人と出会い、楽しい学校生活になることを願っています。

秋祭り



修学旅行 平成17年



運動会 平成17年





感謝

高橋由美子



初めて大岡小学校を訪れた時のことだった。職員玄関正面の階段から子どもたちが降りてきて、気持ちのよい元気な挨拶をしてくれた。階段の上のステンドグラスから差し込む色とりどりの光とその子どもたちの姿がいつまでも私も頭の中にあった。

あれから十余年。あの当時と変わらない子どもたちの元気な挨拶。きれいな校舎。私の頭の中にあったあの階段とステンドグラスは素敵なままだ。

最初は37名と少ない児童数に戸惑いを感じたが、一人一人の名前を覚え、一人一人と会話をし、一人一人の成長を間近に感じ取ることができ、この大岡小学校が大好きになった。

大岡ソーラン、境獅子舞、秋祭り、一生懸命取り組んだ子どもたちの姿を忘れまい。素晴らしい思い出をくれた大岡小学校に感謝。

自ら進んで、心豊かに育つ子どもたちへ

遠藤 律子

(清らかに白い学び舎は われらの夢を呼ぶところ)

これは、私の好きな大岡小学校校歌の一節です。

平成20年4月、大岡小学校に赴任してから5年が経とうとしています。子どもたちと過ごしてきたこの5年間には、いろいろな思い出があります。その中でも、これは大岡ならではの、というものを紹介します。

1つ目は、ノーチャイムの学校生活を送っていることです。校内全体が5分前行動を心掛け、実行しています。子どもたちも私たちも、自ら進んで行動できる体内時計が備わっています。私は当初、わざとチャイムを鳴らさないのだと1人で納得していました。ところが、実はチャイムを鳴らす機械が壊れて鳴らないために、このようになったことを後で知らされました。

2つ目は、昇降口の靴箱に児童一人一人の長靴と軍手が常時おいてあることです。学校園・学級園がとても充実していて、毎年、学校園にはたてわり班ごとに、さつまいもを植え、学級園には、それぞれの学級で決めた野菜を育てました。そして、子どもたちは、野菜の水やりや草取りなどに労を惜しまず活動しました。だから、長靴と軍手が必需品だったのです。また、プールに来ると、帰りには学級園に立ち寄り、野菜の育ち具合を確かめ、ちょうどよい頃に収穫してよいという約束がありました。笑顔で、ミニトマトやキュウリを採って、おやつにしている子どもたちの姿があちこちに見られました。とてもほほえましい光景でした。子どもたちは、土に親しみ、野菜の成長・収穫を通して心豊かに育っています。

このように、自ら進んで、心豊かに育つ子どもたちの姿は、これからの時代にも大切なことと思っています。大岡小学校で学んだたくさんの方々のことを胸に、新しい環境の中で、やさしく、かしこく、たくましく育ててほしいと願っています。

校歌はこれからもずっと、子どもたち、保護者の方々、教職員の心の中に奏でられることでしょう。





閉校にあたって

五十嵐俊之

「こんにちは。」

初めて出会うお客様にも、きらきらした表情で心地よいあいさつを交わすことができる子どもたち。大岡小学校の子どもたちと初めて出会い感激したのは、3年前の公開研究会の時でした。

そして、昨年4月。3年前の出会いの時と同じ感激を再び味わうことができました。心地よいあいさつ、キラキラした表情。やはり3年前と同じです。

広い校庭に、鐘のあるかわいい校舎。温かく協力的な地域の人々。このように恵まれた環境の中で素直に育った子どもたちと2年間楽しく生活させてもらうことができました。この大岡小学校とも今年でお別れです。来年からは、大人数の中で育っていく子どもたち。その中でも、大岡っ子の素直さ、明るさを忘れずに過ごして行ってほしいと願っています。



我らの力生むところ

佐々木恵理子

「われらの力生むところ 学ぼうさとく根気よく たのし大岡小学校」大岡小学校校歌、2番の歌詞の一部です。大岡小にお世話になった4年間、この歌詞を実感させられたことが数多くあります。

大岡小学校は縦割りでの活動が多く、上学年の子が下学年の子に優しく接している姿が日常的にありました。それが互いに力を発揮させる場となり、様々な活動に生かされていたのです。

また、子どもたちの根気強さにはいつも感心させられました。子どもたちの姿は無理に頑張ってしまうと思ってしているわけではなく、それが自然なものでした。そこには、地域や家庭の力を垣間見た気がします。

さらに、子どもたちとはたくさんの歌を一緒に歌ってきました。歌っているときの子どもたちの顔は本当にあどけなく、「かわいい！」と思っています。

「楽し大岡小学校」・・・楽しい思い出を ありがとうございます。

あいのかねのね

加藤 佳洋

大岡小学校に勤務して、4年になる。

4月に、子どもたちと一緒に必ず校舎の屋上に上がる。栗駒山や新幹線、高速道路、田園風景が見られる。

子どもたちの反応は、「あっ、ぼくの家が見える。」「新幹線。」など、さまざまな反応が返ってくる。

しばらくすると、必ず校舎の上にある鐘に気付く。

「あれ、あいのかねのねなの。おっきいね。」と、子どもの反応がある。

「校歌の三番の『愛の鐘の音 さわやかに・・・』の鐘だよね。」

大岡っ子にとって、屋上の風景も、友だちと遊んだ校庭やプール。一つ一つの思い出を胸に、心の鐘を鳴らしてほしいと思う。大きい、大きい鐘の音を鳴らしてほしいと思う。

はばたけ、大岡っ子。





思い出

千葉 彩子

今年大岡小学校に異動し、私にとって思い出がある大岡小学校に来られたことを嬉しく思います。

今から25年前、私が有賀小学校に通っていた当時、有賀小学校と大岡小学校は、合同で2泊3日の合宿に行ったり、修学旅行に行ったりしていました。そのための事前交流活動で、有賀小学校から自転車をふんで大岡小学校に行き、体育館で活動したことを覚えています。小規模校で近隣ということもあり、大岡小学校の友達とすぐに打ち解けて仲良くなりました。

合宿では、2泊3日があつという間に過ぎていき、まだ泊まっていたいなあと感じたほどでした。修学旅行では、部屋で枕投げをしたり、夜遅くまでおしゃべりをして先生に注意されたりしたことを覚えています。

大岡小学校は閉校になりますが、私のように思い出は心に刻み込まれていくと思います。

私の初任地、大岡小

遠藤 美南

私が初めて大岡小学校を訪れたのは、大学を卒業したばかりの頃です。当時の児童数は39名。校庭には草。まわりは田んぼ。仙台生まれの私にとっては新鮮なことばかりで、そして、小さな学校だからこそ多学年で遊び、先生や地域に見守られている子どもたちが、とてもうらやましく思いました。

私はこれまで、豊かな自然とさまざまな行事に季節を感じ、子どもたちに元気をもらい、先生方に助けてもらいながら仕事をしてきました。何もかもが初めての経験で、大変と思う間もなく3年が過ぎようとしています。

大岡小学校の最後の3年間です。学校を閉めるということが、どういうことなのか、まだ想像が付きませんが、お世話になった方々やこの地域への恩返しの気持ちも込めて、一生懸命閉校事務に当たりたいと思います。



田植え 平成16年





閉校にあたって

菅原 聡一

「おはようございます！」

わざわざ立ち止まって、大きい声で元気いっぱいあいさつをしてくれる子どもたち。和気あいあいの職員室。私にとって大岡小学校は本当に楽しい毎日でした。

集団登校を迎え、集団下校を見送る先生方。日々の中で、一緒になって活動することが多い分だけ、1年生から6年生まで、学校の中のみんなの距離が近い気がしました。そんな、1年間を大岡小学校で過ごせたことは、私にとって嬉しくもあり、寂しくもあります。栗原市内の小中学校が多く統合する中で、私の母校である栗駒小学校も閉校になります。思い返すと、教室、校庭、体育館、裏山で遊んだこと、先生によく叱られたことなど、たくさんの記憶が懐かしく思い出されます。ふとした瞬間に想い出す場面は、どれも私にとって原風景であり、これが私の帰るべきところなんだなという感覚を持ちます。そして、大岡小学校で培ったものを胸に希望を持って、次へ進んでいきたいと思えます。

閉校という寂しい気持ちも大きいです。子どもたちが大岡小学校で培ってきたもの、思い出、経験は決して色あせるものではありません。閉校した後は、若柳小・中学校へ通う子どもたち。大岡小学校を卒業したみなさんの活躍を心より願っています。



屋上から望む栗駒山 昭和61年

優しさにありがとう

百々 哲史

小学校1年生の暑い午後、大林の駐在さんにお世話になってから数十年。まさか閉校の年にこの地でまた面倒を見ていただくことになろうとは…。

出勤時、駐車場から玄関へ歩を進める。校庭から、教室から、「おはようございます。」の元気なあいさつ。

休み時間、図工室の窓を開けて黒板消しをたたく。散歩道から、「こんにちは。」と地域の人々の声。

ある日の朝、教室から朝マラソンに向かう。「先生、疲れてるの?」「どうして?」「いつもはニコニコなのに今日は違うから。」と近寄ってきた児童の言葉。

時は流れても、大岡の人々は優しい。

素敵な人々が住む、素敵な地が育んだ大岡小学校よ、「さようなら。」

そして、「ありがとう。」

閉校に思う

高橋 伸

大岡小学校に勤務して半年が過ぎました。毎日、明るく元気な子どもたちからエネルギーをもらっています。

私の母校（有賀小学校）もこの大岡小学校も、まさか閉校になるとは思ってもいませんでした。そして、地域から歴史ある学校が無くなることは、自分の小学校時代のたくさんの思い出も薄れてしまうようで、とても寂しいです。

みなさんは、新しい若柳小学校に通うことになりましたが、たくさんの友だちができたり、たくさんの楽しいできごとを経験したりすると思います。みなさんで力を合わせて、新しい若小のすばらしい歴史をつくってってください。



**大岡小学校に感謝**

佐々布志津子

一番目の息子が大岡小学校に入学したのが今から8年前。入学式当日、息子同様に親の私がとても緊張して学校に行ったのを思い出します。私が通った小学校は、若柳小学校と同じくらい的人数がいたので、初めて大岡小学校の教室に入ったときは、机の少なさと教室の狭さにびっくりしました。そう、「まるでテレビでしか見たことがない分校」と感じたのが、第一印象でした。その上、人数も10人足らず・・・(男子8人、女子2人)。「少ない人数で大丈夫かな。」と不安がありつつも、息子は友達や上級生と毎日楽しく学校生活を送ることができました。

大岡小学校には、伝統の獅子舞がありました。それを初めて見たのは運動会。4年生から6年生が獅子を操っていた姿に感動しました。人数が少なくなった今も、その獅子舞は上級生から毎年引き継がれています。

今は4年生と1年生の娘が、さらに少なくなった人数で最後の大岡小学校に通い、全てにおいて最後の行事に、時に係の仕事しながら選手としても頑張ってくれています。勉強以外でも不得意で大変なことにも、あえてチャレンジでき可能性を広げられたのは、少ない人数のおかげなのかもしれません。

残念ながら来年度から再編になり、今までは挑戦できたことも、来年からは限られた人しかできなくなることもあると思います。できれば、大岡小学校で卒業させたかったのですが。(親以上に子どもは寂しいと思っているようです。)でも、大岡小学校の思い出を胸に再編後も友達をたくさん作り、また楽しい学校生活を送ってもらいたいと思います。

「大岡小学校にたくさんの感謝の気持ちをこめて・・・ありがとう。」

これまでたくさんの先生方にも大変お世話になりました。ありがとうございました。



運動会 平成16年

**ありがとう大岡小学校**

石川 美佳

とてもすばらしい環境の大岡小学校で、2人の子どもたちは、たくさんの行事、数えきれないくらいのいろいろな思い出ができました。大岡小学校での日々は、他の学校では決して味わうことのできない大切な時間だったと思います。

地域の温かい心づかい、心温まる先生方のご指導のもと、伸び伸びと小学校生活を送ることができた子どもたちでした。

今までお世話になった先生方、地域の方々、最高の仲間たち、ありがとうございました。大岡小学校での思い出を「一生の宝物」にしてほしいと思います。

ありがとう大岡小

鹿野真由美

美しき栗駒山を望み、自分の大岡小時代から娘2人が恵まれた時代での教育環境で、ご指導くださいましたことを心よりお礼申し上げます。

親の立場となって娘たちとの学校の思い出のほうに鮮明で、「メッチャ！楽しかった！」と語れる娘たちの心と身体を育ててくださった大勢の先生方、お友達、保護者の方々、地域の皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。





大岡小学校、ありがとう

小岩とよみ

私の家では、3代にわたり大岡小学校にお世話になりました。

昭和8年生まれの私の父の時代は、「疎開して来ている人もいて、同級生は78人いて、教室はギューギュー詰めで大変だった。」とよく話していました。

私の頃になると、1学年が30人前後で、約200人の児童がいました。運動会では、ブルーのユニフォームを着ての鼓笛隊で鉄琴を演奏したことが思い出にあり、大変懐かしく思います。

今、6年生に私の娘がおりますが、同級生はたった5人。ですが、毎日元気に勉強に運動に頑張っています。

奇しくも、娘は大岡小学校140年あまりの歴史の最後の卒業生となります。自分の母校が閉校となるのは寂しいけれど、最後に、「私たちを育ててくれて、大岡小学校、ありがとうございました。」



大岡小学校の思い出

加藤 信行

息子が大岡小学校にお世話になってから、早いもので5年が経ちました。少人数の学校ではありますが、温かく包んでくれる先生方や共に学び遊んでくれる友だちの中で、息子は明るく元気に育ってくれました。

また、地域のみなさんのご協力にも感謝致しております。

本当は、卒業まで大岡小学校で過ごさせてやりたかったというのが、親の本音ですが、この大岡でのたくさんの思い出を息子共々、一生の宝物として大事にしていきたいと思います。

思い出をたくさんに

金 加奈子

子どもたちは毎日元気に登校し、一日一日を精一杯過ごしていることと思います。

この1年間、大岡小学校が閉校になるという寂しさを抱きながらも、勉強や運動、ふれあい活動等、いろいろな活動に積極的に取り組み、心も身体も大きく成長してほしいと思います。

そして、他にはないたくさんの思い出をつかって「有終の美」をかざってください。

大岡幼稚園・大岡小学校の思い出

直井 純子

我が家では、長女の幼稚園入園から5年間お世話になりました。

小規模校の経験がなく不安はありましたが、先生方、地域の方々とのかかわり、田植え・稲刈り・秋祭り・2年生からの宿泊学習・仙台校外学習、出る種目の多い運動会、学芸会、全校参加の音楽祭等々……。大岡小ならではの行事をたくさん経験させてもらいました。

閉校になるのは寂しいけれど、子どもたちは思い出を胸に、成長してくれると思っています。大岡幼稚園・大岡小学校、ありがとう！！



稲刈り





大岡小学校の思い出

二階堂和江

この学校には、たくさんの思い出が詰まっています。

親子で活動する行事も多く、みんなの顔が分かる親しみのある学校でした。地域の皆様にも良くしていただいた、とても楽しいところでした。

大岡小学校がなくなってしまうことは、大変寂しいことですが、この思い出を大切にしていきたいと思います。

大岡っ子

三浦 克則

顧みれば、旧体育館で卒業証書をいただいてから三十数年経ち、私の長男も大岡小学校を卒業し、長女は5年生。

さかのぼれば、私の曾祖父から5代にわたり学び、卒業と、非常に感慨深いものがあります。閉校は時代の流れ、少子化と様々な問題がありますが、やむをえないことなのでしょうが、一抹の寂しさを感じるのは、私だけではないはず。

在校生のみなさんは、来年より新しい小学校へ通うことになるのですが、この大岡小学校で学んだ様々なことを忘れないで、また、大岡っ子としての誇りを持って頑張ってください。

大岡小学校の思い出

三浦 晴美

子どもが入学してから4年が経ちます。入学したときは、友だちと仲良くできるか、勉強についていけるか心配な毎日でした。

でも、校舎に入ると低学年から高学年まで、子どもたちが仲良く走り回ったり、ボール遊びをしたりしていたので、安心しました。

先生からの指導では、「あいさつ」です。「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」の3つです。大岡小学校の子どもたちは、あいさつの大切さを知っているので、閉校になっても「あいさつ」だけは忘れずに続けてほしいです。

これからは、たくさんの思い出の詰まった大切な場所だった大岡小学校に、負けないくらいすばらしい小学校をつくってもらいたいと思います。

大岡小学校の思い出

佐藤 弘樹

悲しくも、お姉ちゃんの頃から数えると、長年お世話になりました。たくさんの思い出が詰まった大岡小学校が閉校になることは、正直残念でなりません。

大岡小学校は人数が少なく、それだからできることがたくさんあったと思います。運動会では、親・地域の方々も参加し、盛り上げ、学芸会は、だれが主役ということではなく、一人一人の個性が出て一生懸命演技する子どもたちに、毎年感動して見ていました。自分の子どもも、明るく元気に楽しく学校に通っていたのも、優しい友だち、先生方のおかげだと感謝しております。

最後になりますが、保護者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

大岡小学校は、勉強よりも人間としてのきれいな気持ち、心を育ててもらった場所でした。



火の見櫓より学校を望む(旧校舎)





思い

伊藤 博美

親子で同じ小学校を卒業できるということは、うれしいことでもあり、誇りでもあります。

その学校がなくなってしまうということは残念ですが、自分の子どもたち（6年生5人）が、記念すべき最後の卒業生となることは、忘れられない思い出となり、私の心の中に残る思い出の一つとなることでしょう。



くりでんでお出かけ（昭和59年）

大好きでした大岡小学校

加藤 則子

1年生から6年生までみんな仲良しで、保護者の方々も仲が良く、それに学校のすぐ隣には、ザリガニがいることがびっくりでした。

私はマンモス校に通い、話をしたことのないクラスメートが何人もいたので、大岡小のアットホームな雰囲気への衝撃は大きかったです。そして羨ましかったです。大岡小だからできたこと、大岡小だから楽しかったことが、たくさんあります。そんな大岡小で子どもたちを育てられて最高に幸せでした。心から感謝したいと思います。ありがとうございました。



桜と二宮金次郎像（旧校舎）

大岡小学校の思い出

加藤 雅恵

毎朝、「行ってきます。」と言って、学校の入り口まで子どもが入っていく姿を、自宅から見られる環境で育ち、子どもたちが学校で遊ぶ様子を見ながら、子どもたちを見守ることができることは、幸せなことでした。

親子3代にわたり、お世話になりましたことを感謝しております。

有難う大岡小学校

二階堂美和

小さいけど温かい、優しさに満ちた小学校。我が家からは、いつも小学生の笑い声、運動会の練習の音、プールの歓声など、さまざまな楽しげな声が聞こえていました。

そんな大岡小学校の閉校は、残念でなりません。お姉ちゃんから佑真まで8年間、地域と密着し、みなさんに可愛がっていただきました。

これから大きな小学校に行くにあたって、大岡っ子の優しさを忘れず、また「井の中の蛙」にならず、大きく大きく成長してくれることを願います。

本当に有難うございました。



思い出の時間

佐藤明日子

タンタカ、タカタカ……。無意識に手足がリズムを取って……。息子にとって「任された」という思いでいっぱいだったのでしょう。その晴れ姿を見たときは、思わずウルウルしてしまいました。“境獅子舞”を通して、地域の文化や伝統を守っていくという、貴重な時間を過ごせたことに感謝しています。

これから大きな輪の中でも、そんなつながりを心に刻みながら、いろいろなことにチャレンジして、成長して行ってほしいです。





大岡小学校の閉校によせて

千葉 由香

白い校舎、愛の鐘、校庭から見える栗駒山。校歌に謳われる歌詞そのままに建てられた大岡小学校。この校舎の落成式は、今もなお、私の心に残っています。できたばかりの学校には、校舎以外に何もなく、校庭の土は風雨があるたびに流され、草すらも生えない状態だったと記憶しています。

息子が大岡小学校に入学し、児童数が百名に満たないということに、大変驚かされました。時代の流れをひしひしと感じながら、子どもと一緒に大岡小学校の生活が始まりました。

児童数が減っても、ここで学ぶ子どもたちの表情はとても明るく、とても聡明です。それを支える保護者の方々の協力、温かく見守ってくださる地域の方々。そのような環境があるからこそその大岡っ子だと感じています。

大岡小学校が閉校することは、とても寂しいことですが、私の中にこれからもずっと、大岡小学校の思い出は生きていくと思います。



落成当時の校舎 昭和61年

大岡小学校の思い出

菊地 恵

子どもたちと共に、毎日泣いたり笑ったりしながら過ごしてきた小学校生活。どれも思い出深いことばかりです。

これまで大岡小学校でお世話になった先生方、そして子どもたちを温かく見守ってくださった地域の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



大根の収穫 平成7年

その度に懐かしく思っていました。そして、娘が学校の話をする度に共通の話題が出ると、「お母さんが小学生の時も同じだったよ。」などと娘との会話が弾みました。

今プールの後ろにある山で、1年生の時同級生全員と写真を撮り、東北博覧会で披露された思い出があります。また、当時4年生から2階の教室になるのをすごく喜んだ記憶もあります。小学生の頃は、長い廊下、広い教室、大きな体育館だったのですが、今は小さく感じ、年月の長さを感じます。どうもありがとう、大岡小学校。

大岡小学校の思い出

二階堂 恵

私は、今の校舎の第1回の入学生です。小学校6年間をこの校舎で過ごしました。そして、小学3年になる娘も、この校舎で学校生活を送っています。

私は、卒業後は殆ど校舎に入る機会がなかったのですが、娘の入学を機に校舎に入る機会が増え、

大岡小学校の思い出

西山 優

子どもたちが新田小学校から転校して戸惑うことは多かったけど、いろいろな方々に助けられ、今では子どもたちも毎日楽しく過ごしています。

獅子舞では、笛を上手に吹けないと泣かれたこともありましたが、本番では何とかこなし、ほっと安心した子どもの顔が印象に残っています。

大岡小学校がなくなるのは、とても残念ですが、新しい友達と会えることを子どもたちも楽しみにしています。大岡小学校で学んだ、「やさしく、かしこく、たくましく」そんな子どもたちでいつまでもいてほしいと思います。





白鳥見学 平成 14 年

大岡小学校の思い出

日下 順也

「1年生は2人。」

衝撃的な大岡小学校のスタートでした。何度か小学校を見学させてもらい、大岡小学校のよさを知り、子どもたちには自分たちでは経験できなかったことをさせてあげたいと思いました。羨ましいぐらい子どもたちは、伸び伸びと小学校生活を送り、温かい地域の方々に見守られながら、小学校へ通うことができました。

一つ一つの行事が思い出深く心に残っています。2歳になる弟は、獅子舞が大好きで、よく家で獅子舞のまねをして遊んでいます。とても貴重な経験になったことと思います。

一つ一つの行事が思い出深く心に残っています。

ありがとう大岡小学校

佐々木由佳

この大岡小学校に3人の子どもたちが9年間お世話になり、私もたくさん思い出ができました。

強く、やさしい、かしこい大岡っ子に、伸び伸びと日々成長できたのも、ひとえに温かく指導し、支えてくれた先生方のおかげだと感謝しております。大岡で学んだことを忘れず、これからの生活に生かして行ってほしいと思います。

最後に、お世話になった先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

大岡小学校の思い出

佐藤 和子

子どもたちは、明るく元気で素直です。私は、いつも子どもたちの笑顔を見て、元気をもらっています。

私の子どもは自閉症で、一般の子どもたちとはまるで違います。先生方と保護者の方、地域の皆様の温かい気持ちにふれあえたことが、大変嬉しかったです。

大岡小学校でたくさんの思い出ができました。

大岡小学校の思い出

鈴木 太郎

我が母校である大岡小学校が息子たちにとっての母校ともなり、ひとしおの感慨深さがあります。語り尽くせないたくさんの思い出がありますが、親子共々感謝の気持ちでいっぱいです。

残念ながら閉校となってしまいますが、地域に根付いた大岡小魂は、延々と受け継がれることを信じています。



大岡小学校の思い出

高橋 芳徳

毎日朝早く学校へ行く姿を見て、もう少しゆっくり行ったらいいのになと思っていました。ところが、理由があり遊ぶ時間がほしいとのことでした。学校が子どもにとって、大切な場所、勉強ばかりの場所ではなかったことに、子どもから教えてもらい、嬉しく思っています。

大岡小学校でしか味わえないたくさんの行事に、笑顔がにじみ出ていました。先生方、地域の方々、すばらしい5年間をありがとうございました。一生の思い出です。





交通安全指導

幼稚園のみんなのいつも明るく元気な姿を見て、小学生たちも“負けてられない”って頑張ることができました。

大岡幼稚園43年間ごくろうさまでした。私もグラウンドゴルフでお世話になりました。なくなるのがとても残念に思います。

老人クラブで、焼き芋大会や芋煮会やてんぷら大会、幼稚園の人たちとグラウンドゴルフをして遊び、大変楽しい思い出です。

大岡幼稚園、たくさんの楽しい思い出をありがとうございました。ずっとずっと忘れない。



たくさんの思い出をありがとうございました。園庭のドングリを拾って遊びました。

1年間の短い間でしたが、地域の皆さんに支えられ、思い出がたくさんできました。ありがとう！！

去年は人の3倍くらい、お世話になりました。大好きな幼稚園、幸子先生がいなくなるのは、とても残念です。本当に楽しい思い出ばかりです。自信をもつことを教えてくれてありがとうございました。

大岡幼稚園、とても楽しい幼稚園。長い間ありがとうございました。

娘2人がお世話になりました。毎日喜々として幼稚園に通っていた日々を思い出します。先日の修了式では、園児たちが涙を流していましたね。大変感動的な式でした。いい思い出を残してくれてありがとう。

大岡幼稚園の思い出

平成24年3月18日（日）に平成23年度大岡幼稚園の保護者の皆さんが中心になって行った「大岡幼稚園お別れ会」に参加された方々からのメッセージを紹介いたします。（氏名が書かれた方と書かれなかった方がいましたので、ご了承ください。）



破牙神ライザー龍と一緒に決めポーズ



ダンボールそりすべり

1年間でしたが、子どもたちのすがたに元気をもらいました。ありがとうございました。

お別れなんて寂しいです。何とも表せない心境です。今日はご苦労様でした。

ご両親様、じいちゃん、ばあちゃん、家のみんなのお陰様で、卒園です。4月には小学校に入学です。元気で交通事故に注意して楽しく学んでください。

今日は大変楽しい日を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



シャボン玉遊び



南中ソーラン



プール遊び



ザリガニ取り

昭和44年大岡幼稚園が開園して、その間1年間休園いたしました。長い間692名の園児が修了され、思い出がいっぱいです。大岡幼稚園のお別れ会に参加することは残念です。



有賀幼稚園との交流～段ボールスイーツを作ろう

- ▶ 草餅を食べたときのコーラがおいしかったです。プールに入った日にアイスを食べたのが楽しかったです。
- ▶ 幼稚園の思い出は、今でもはっきり覚えています。たくさんの思い出をありがとうございました。
- ▶ 8年前お世話になった幼稚園、今までありがとうございました。
- ▶ こうりゅうで、サッカーをしたのが、たのしかった。
- ▶ いろんなパーティーをして楽しかった。
- ▶ いろんなパーティーが楽しかった。！！学芸会の衣装がうけた！

元気な子どもたちを見守ってくれた**幼稚園！**
本当にありがとうございました。





ぼく・わたしの
すきなばしょ
～1年～

ぼくの すきなばしょは、パソコンしつです。りゆうは、みんなでえが かけるからです。えを かい たのが たのしかったです。

わたしの すきなばしょは、パソコンしつです。りゆうは、パソコンしつで おえかきが できる からです。



ぼくが すきなばしょは、パソコンしつです。りゆうは、みんなとえを かい たり できる からです。たのしかったです。



入学式

ぼくが すきなばしょは、プールです。りゆうは、およぐのが だいすきだからです。みんなと みずあそびをして たのしかったです。



プールにて準備体操

ぼくが すきなばしょは、プールです。りゆうは、おもしろいからです。あそんだり およいだりして おもしろかったです。

ぼくが すきなばしょは、たいいくかんです。みんなと からだを うごかしたことが いちばん たのしかったです。



体育館でのバスケットボール集会



屋上から望む栗駒山

わたしが すきなばしょは、おくじょうです。りゆうは、きれいな けしきが みえる からです。みんなで きれいな けしきを みら れて よかったです。

わたしの すきなばしょは、こうていで す。みんなと ぶらんこや てつぼうで あそんで たのしかったです。





縦割り顔合わせ

たのしかった秋まつり

ぼくは、秋まつりがたのしかったです。秋まつりは、たてわりはんで赤組と白組にわかれて、ごみひろいをしながらあるきます。たくさんごみをとれたので、よかったです。

学校にもどってから、おにぎりづくりやとんじるづくりをしました。ぼくは、おにぎりづくりでした。自分たちで作ったとんじるやおにぎりは、すごくおいしかったです。



～2年～

たのしかったよ、ぎょうぜん体いく

ぼくは、ぎょうぜん体いくでたてわりはんごとに、大なわとびをしたことが心にのこっています。

6年生が、なわをまわしてくれたので、うまくとぶことができました。じょうずなとび方を6年生や5年生が教えてくれました。

たてわりはんの活どうは、いつもたのしかったです。



業前体育

大だいこがんばったよ

大おか小学校には、ししまいがありません。

ぼくは、2年生になって大だいこになりました。6年生に教えられてがんばりました。4年生の人とこうたいでたたきました。

いつも、休み時間にれんしゅうしていたので、うんどう会では、まちがえずにつよたたくことができましたので、よかったです。

もっとやりたかったなあ。

大おか小学校の体いくは

大おか小学校では、体いくを1年生から3年生がいっしょにやっています。

ぼくは、ドッジボールが大好きです。ドッジボールで、3年生が投げたボールをとれたときは、とてもうれしかったです。

そのほか、上の学年のわざを見て、まねをすることもできたので、よかったです。

みんなできょうかできたよ

ぼくは、たてわり活どうで、さつまいもほりをしたことが、心にのこっています。

小さいもしかとれなくて、くやしかったです。でも、なえをうえてから、いもができるまで、とてもたのしみにしていました。

大岡小は、人数が少ないけど、みんなできょうかして何でもやるので、いつもたのしかったです。



芋掘り

ししまいがなくなる

大おか小学校の一ばんの思い出は、うんどう会です。

大おか小は、ぜんいでソーランをおどったり、ししまいをしたりします。6年生をリーダーにして、みんないっしょうけんめいやりました。

ししまいがなくなるのが、ざんねんです。



運動会





あたたかい大岡小学校

秋祭り ゴミ拾い

大岡小学校の一番の思い出は、秋まつりです。秋まつりでは、ゴミひろいをしたり、とんじるやおにぎり作りをします。ぼくは、とんじるのかかりでした。やさいはこびや、とうふちぎりをして、手がつめたくなりました。おにぎり作りをしていた友だちの手が、あたたかかったので、あたたためてもらったことが、いい思い出です。



～3年～



市音楽祭



秋祭り おにぎり・とん汁作り

大岡小学校でよかった

3年生から6年生までが社会科見学でいないときに、学校でかくれんぼをしたことが一番思い出にのこっています。学校中をつかっていたのかくれんぼは、とても楽しかったです。もう一つの思い出は、「ししまい」です。私は、ししがしらでした。ししを持ってあるくのは、とてもたいへんだったけど、頭をかんであげて、たくさんの人によるこばれたので、うれしかったです。





桜祭り

大岡小でのししまい

わたしが大岡小学校で一番の思い出は、大岡小学校伝とうのししまいです。

ししまいは、さくら祭り、運動会など、いろいろな行事で発表しました。わたしは、中だいこというたいこをたたきます。

わたしは、2年生の時、はじめてばちを持ちました。休み時間に何度も練習をしました。そして、ある日、やっと中だいこのリズムをおぼえました。わたしは、思わず、「やったあ。」と言っていました。

わたしは、若柳小学校へ行っても、大岡小でのししまいをわすれないようにします。

ありがとう。学校のプール

わたしの大岡小学校での思い出は、プールで50メートル泳いだことです。夏休み前までは、25メートルは、かんたんにいけたけど、あと12メートルぐらいのところまで、いつも足をついてしまっていました。でも、夏休みに、ほぼ毎日プールに行って練習していたら、前よりらくになって50メートル泳げました。そして、水泳記録会では、練習どおりに50メートル泳ぐことができました。

4年間泳いだプールでは、たくさんできるようになったことがありました。人はいなくなっても、学校はそのままでのこっていてほしいです。



～4年～

1年生から通ってきた大岡小学校

ぼくの大岡小学校の思い出は、大岡小の伝とう行事のししまいです。ぼくは、しし頭でした。ししの頭を持っておどるたび、うでが痛くなったのが心にのこりました。今年で大岡小の伝とう行事のししまいがなくなるので、ちょっと悲しいです。だけど、さいごの大岡小の運動会のししまいで喜んでい人もいれば、うれし泣きをしている人もいたし、さくら祭りでは、ししまいでいっぱいはくしゅをもらいました。ぼくは、すごくうれしかったです。

(大岡小学校は、人数が少なくても楽しい学校でいいなあ。) と思いました。

大岡小学校は、ぼくが大人になっても記ねんとして、ずっとのこしてしてほしいなあと思います。

一番の思い出

わたしの一番の思い出は2つあります。

1つ目は、夏休みです。夏休みは宿題がいっぱいあったけど、大岡じゅくで友だちと会えてとてもうれしくて、その後に入ったプールで、みんなと仲良く遊びました。フラフープをくぐったり、今は中学1年生だけど6年生だったれおくん、プールで投げてもらったりして、とても楽しかったです。後で食べた野さいやプラムもすごくおいしかったです。

2つ目は、2年生で行ったウェットランドです。ウェットランドで、カヌーというボートにのりました。遠くまで行ってしまって、こわかったです。でも、今までで一番の思い出になりました。大人になったら、1度か2度見に来たいです。(ありがとうございました。)



大岡塾





楽しかった思い出

わたしの野球のチーム名は、大岡イーグルスで、大岡小学校のスポーツ少年団です。わたしは、男子とも仲よくなりました。楽しかったし、野球も好きだったから入りました。

火曜日、木曜日は、6時から8時まで、土曜日と日曜日は8時から練習があります。ときどき試合があり、仙台まで行くことがあります。練習はすごくつらいけど、なかまがいるから野球ができることに気づきました。大会ではゆうしょうを何回かできるようになりました。今は人数がへり、有賀小学校の人たちといっしょのチームになりました。

わたしは、ヒットを打つことがあまりできないけど、練習で教えてくれる人がいるから、センターのしゅびがうまくなったんだと思いました。大岡イーグルス、ありがとう。大人になってもわすれない。



大岡イーグルス



大岡小学校でできた思い出

1年生の時の遠足の場所は、ニュージーランド村でした。2年生の時はウェットランド

に行きました。3年生では、ニュージーランド村に行って帰ってから、入りました。その時は、とてもつまらなかったです。

4年生では、蔵王に行きました。そこで、集団行動のたいへんさを知りました。運動会では、ソーランやししまいもやったし、若柳音頭もやりました。ときょう走では、初めて1位になりました。父や母に、「すごいよ、よくやったな。」と言われました。すごくうれしかったです。

大岡小学校ありがとう。大岡小学校があったから、たくさんの思い出や友だちができました。本当にありがとう。

～4年～

蔵王合宿

楽しかった大岡小

ぼくが大岡小学校で心にのこっているのは、ししまいです。大岡小だけの芸能です。ぼくは、お父さんがあやしをやっているのを聞いて、ぼくもあやしになりました。しっかりおぼえて、できるようになりました。足はすごくいたいけど、楽しかったです。

大岡小で一番心にのこっていることは、1年生の時の遠足です。お弁当を食べているとき、先生のかたのあたりに鳥のふんがおちて、みんなで大はしやぎをしたことです。ぼくは、男子でさくらんぼの種飛ばしをして楽しんでたので、わからなかったけど、楽しい思い出です。

大岡小をはなれたくないけど、（しょうがない・・・）と思いながらくやしいです。若小で友だちをつくって、たくさん勉強したいです。大岡小のことは、死ぬまでわすれたいです。たまに大岡小のことを思い出して、笑ったりしたいと思います。



大岡小、楽しかった

わたしは、新田小学校から転校してきました。全校37名の大岡小学校でも、ししまいや大岡ソーランがありました。

ししまいは新田にはなくて、初めてでした。かってに笛のやくになっていて、とてもむずかしかったです。息の入れ方、息を入れるところ、いろいろたいへんだったけど、なんとかできました。

ソーランは新田にはあったけど、ちょっとちがいました。これもなんとかおぼえて、運動会などでひろうしました。

大岡小学校がなくなるので、ししまいや大岡ソーランがもったいないなあ。でも、この思い出をわすれないようにしたいです。大岡小学校、本当に楽しかったなあ。今までありがとう。



このメンバーだから楽しかった

わたしは、1年生のころから11人で遊んでいました。時には、ようち園からかっていた、「はるたろう」がにげ出したり、みんなで楽しくプールに入ったりしました。

3年生になった時は、新田小学校から転校してきた友達といっしょに12人で楽しく遊びました。

わたしは、この大岡小学校での思い出がたくさんあります。ししまい、ソーラン、秋祭り、たてわり活動と、たくさん楽しかったです。1年生からとっても楽しかった大岡小学校がなくなるのは、とても悲しいです。大岡小だけのソーラン、ししまいは伝とうでした。でも、若柳小学校でも友だちができて楽しいと思います。若柳小の伝とうや自まんは、どんなことなのか楽しみです。

大岡小学校のこと、大岡小学校での思い出は、わすれません。



～4年～



楽しかった大岡小イーグルス

ぼくは、野球を1年生から習いました。一番の思い出は、Kスタにみんなで行ったことです。その時は、すごい力がありました。「山崎選手」がライトの方にホームランを打った時、みんなは、「オー、ワー、やったあ。」と言っていました。本当にとてもすごかったです。だけど、楽天は負けてしまい、ぼくは、がっかりしました。今年もみんなで、Kスタに行きたいです。

来年は野球をやらないけど、大岡小イーグルスは、ずっと覚えていきたいです。





はるたろう、だっそう

ぼくの思い出は、2年生の時にゆくえふめいになった、「はるたろう」というかめです。

ある日、はるたろうをさん歩きさせていた友だちが、目をはなしたすきに、どこかへ行ってしまいました。みんなは、とてもびっくりしました。そして、いっしょうけんめいさがしても、ぜんぜん見つかりませんでした。

「は一、はるたろう、どこ行ったかな。」「そうだ、りょこうにでも行ったんじゃない。」だれかがそう言って、みんなで笑いました。

そして2年が過ぎ、ぼくたちは4年生になりました。でも、「はるたろう」はいません。（やっぱり、りょこうにでも行ったんじゃないかな。）ぼくは、そう思いました。

大岡小学校、4年間ありがとうございました。休みの日に見に来ます。

～4年～



市音楽祭



楽しかった大岡小学校

わたしは、大岡小学校が大好きです。やさしい友だち、先生がたくさんいます。広い校庭と一輪車とプールもあります。

学校では、今、毎日プールに入っています。ちょっと水は冷たいけど、お風呂より大きくて気持ちいいです。それから、わたしは一輪車に乗るのが得意です。先生と手をつないでどこまでも行けます。いろんな人が、「上手だね。」「すごいね。」と、声をかけてくれます。

教室では、いろいろなお勉強をしています。音楽をかけて歌ったり、パソコンやパズルなどをしたりします。教室に友だちも遊びに来ます。みんなとても優しいです。わたしもいろいろな教室に行って勉強します。4年生のみんなといっしょに給食を食べます。大好きな五目ごはんやうどんのときは、とてもおいしいです。でも、苦手なパンのときは困ってしまいます。先生は、何とか一口でも食べさせようとしますが、無理なので抵抗します。食べ終わってから歯磨きをします。わたしは、コップの水をこぼさないように上手にうがいができるようになりました。えらいでしょ。

一番楽しかったのは、蔵王自然の家です。家を離れて初めて学校の友達と3日間もいっしょに過ごしました。実は、お母さんもついてきました。わたしを心配してくれたんだって。でも、わたしは行き帰りのバスもハイキングもお風呂も、みんなといっしょだったよ。わたしは、大きくなったらお母さんのような人になりたいです。とても優しく、わたしのことをいつも心配してくれます。おいしいごはんも作ってくれます。そんなお母さんが、わたしは大好きです。

私が元気に生活できるのは、お母さん、お父さんがいるからです。お父さん、お母さん、大好きです。ありがとう。



蔵王自然の家合宿



宿泊合宿

大岡小学校での思い出

ぼくは、この5年間で楽しかったことが、いっぱいあります。その中で特に楽しかったことは、宿泊学習です。学校ではできないことができたり、協力して友達ともっともっと仲良くできたりしたからです。

このような友達と出会えたのも、大岡小学校にいたからだと思います。この思い出を大切にして、また楽しい思い出をつくっていきたいです。

大岡小学校の思い出

私の思い出は、運動会です。この5年間に1回しか勝ったことがありませんでした。あと、2年生から4年生までの3年間、ずっと白組でした。

運動会で一番きんちょうするのは、全力走です。今年もきんちょうしました。今年は、最後の運動会で負けてしまったけど、楽しかったです。

5年間、ありがとうございました。



大岡小学校の思い出

ぼくの大岡小学校での一番の思い出は、1年生の時の運動会です。ぼくは、初めての運動会だったので、少しきんちょうしました。それから、ぼくは赤組でした。そのときは、赤組がゆう勝したので、うれしかったです。

この後の運動会もがんばっています。

大岡小学校、今までありがとうございました。



～5年～

運動会



大岡小学校の思い出

わたしが大岡小学校で楽しかったことは、2つあります。

1つ目は、みんなと遊んだことです。校庭でおにごっこをしました。

2つ目は、雨の日のことです。3年生のころに雨がふっていて、外で遊べない時に、体育館でボール遊びなどをしました。

2つともとても楽しい思い出になっています。





大岡小学校の思い出

3年生の冬の栗駒一周で、「桜の湯」に行ったとき、お弁当にキャビアが入っていました。もう二度と食べられないと思うので、大きな思い出です。

それから、今はもうないけれど、ターザンロープとタイヤをわたる遊具も思い出です。ターザンロープは、けっこう速かったけど楽しかったです。タイヤをわたるのは、ゆれて少しむずかしかったです。



泉ヶ岳宿泊合宿

泉ヶ岳宿泊学習の思い出

ぼくが、大岡小学校で楽しかったことは、泉ヶ岳での宿泊学習です。

その中で一番楽しかったのは、沢登りです。沢登りでは、急な坂を上ったり、岩場を通ったりして大変でした。でも、ゴールの沢では流れが強くて、水も冷たかったので気持ちよかったです。

～6年～

大岡小学校での思い出

わたしの大岡小学校での思い出は、栗原市小学校陸上大会に出場して3位に入れたことです。

5年生の秋に、初めて800メートル走にちょうせんしました。そして、6年生の春に800メートル走に出て、3位に入ることができました。とてもうれしかったです。よい思い出になりました。



陸上大会



秋祭り

大岡小学校での思い出

わたしが6年間で心に残った思い出は、1年生から3年生まで行った、秋祭りの学級ごとの出店です。アンパンマンの輪投げなどしました。自分たちで考えを出し合っ行って、すごく楽しくて、今もおぼえています。

2つ目は、去年と今年の春の陸上大会です。毎日放課後に大変な練習をし、市の2回の大会で2位と3位をとって、新しい大岡記録が出たことです。県大会にも参加することもでき、すごくうれしかったです。



泉ヶ岳の思い出

ぼくは5年生の時、泉ヶ岳に行って山歩きなどをして楽しかったです。山歩きでは、とちゅうでヘビなどが出たり、キノコなどを見つけたりしました。また、ゴール地点には川があり、サンショウウオなどがいました。焼き板作りは、とても熱かったです。また行って、焼き板や山歩きなどをしてみたいです。



泉ヶ岳宿泊合宿



あとかき

栗原市立大岡小学校
教頭 渡邊 美由紀

平成25年3月。大岡小学校は140年、大岡幼稚園は43年の歴史に幕を下ろすことになりました。

地域の皆様から愛された白い校舎からは、西に栗駒山、南に迫川に沿った桜並木、東や北には広々とした田園を見ることができます。自然豊かなこの大岡の地で育まれた先輩方が、いろいろと活躍されている話を地域の皆様から聞くたびに教育に対する地域の情熱を強く感じました。

大岡小学校創立100周年には盛大な記念式典を挙行し、地域の財産ともなる『記念誌』や『同窓会名簿』が発刊されました。また、現在の地に校舎が建てられてからは、PTA奉仕作業で木製遊具(現在は撤去されています)とタイヤの遊具や花壇の設置を行い、教育環境の整備に協力をいただきました。さらに、卒業生や元職員から学校への寄贈が多く、大岡の子どもたちへの期待と愛校心に驚きました。その思いは、現在の大岡小学校の子どもたちの姿に表れています。

朝、子どもたちは職員室の窓の外で立ち止まり、帽子を取って「おはようございます。」と元気にあいさつをして1日が始まります。8時を過ぎると、音楽と共に全校児童の持久走が行われ、体力向上の意識を高めたり、根気強さを身に付けたりしています。休み時間や放課後に学年を越えて仲良く遊ぶ姿や、高学年の間に低・中学年の子どもたちをばさんで集団下校する姿は、先輩達から受け継がれた大岡っ子の優しさがあふれています。保護者や地域の皆様が大切に育ててくださった大岡っ子は、これからも豊かな心を持ち続け、未来に向かって一步一步前進していくことでしょう。

地域の皆様には、これからも見守り、励まし、教育の支えになっていただいて、子どもたちが大岡っ子として培われた力を発揮し、新しい若柳小学校でさらに心豊かに成長することを期待します。



栗原市立大岡小学校閉校記念誌

発刊 平成25年3月
発行 栗原市教育委員会
企画・編集 栗原市立大岡小学校閉校記念事業実行委員会
栗原市立大岡小学校



